

高原を疾走！



▲西脇工業高校など駅伝の強豪チームも大会に参加

## 大山高原クロスカントリー大会

今年で6回目となる「大山高原クロスカントリー大会」が7月31日、大山・豪円山工リア内特設コースで行われました。

爽やかな風が吹き、時折曇り空となつて、選手が走るのには絶好のコンディション。1周2キロ、高低差約40メー

トルのコースを距離別、年齢別の19部門に各地から約600人の選手が力走しました。

た。

「がんばって！」選手の力

走を応援しようと家族や友人らが会場を訪れ、声援を送りました。

名和野球スポーツ少年団  
準優勝！



▲みんなで力を合わせました

7月17日（日）、米子市民球場で鳥取県スポーツ少年団軟式野球交流大会が行われ、各地区予選を勝ち上がつた4チームが出場し、熱い戦いを繰り広げました。

名和野球スポーツ少年団は1回戦で鳥取市の若葉台スポーツ少年団を8対7で下しましたが、決勝では境港市余子スポーツ少年団に3対2で惜しくも敗れました。

主将の仲川遼太君は「優勝できなかつたのは悔しいけれど、暑い中、2試合を集中してみんなでがんばれたのでよかったです」と話しました。



▲「あっ！そこにヤマメがいるよ！！」

魚のつかみ捕りに歓声！  
**甲川渓流まつり**



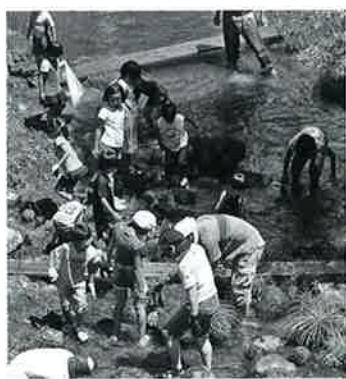
甲川うぐいす橋の下の広場で、8月7日「第9回甲川渓流まつり」が行われました。（主催・中山まちづくり実行委員会・岸本耕二会長）

夏休み期間中とあって、親子連れや子ども会、中学生同士など約180人が参加し、会場はにぎわいました。

昼食には、流しそうめんや捕まえたヤマメを塩焼きにして、焼きたてを「ガブリ」。

温15℃と冷たく、川面を涼やかな風も通り抜け、参加者は自然にふれあいながら心地よく夏の一日を過ごしました。

岸本会長は「自然を思い切り楽しめるこの渓流まつりを来年もぜひ、行いたい」と話していました。



▶会話を自然とはずみます

参加者は年代別に分かれ、放流されたヤマメをつかみ捕り。子どもだけでなく、大人も童心に帰り、泳ぎ回るヤマメを捕まえては笑顔がこぼれました。

捕まえた魚はさつそく計測。大物賞は29センチのヤマメを捕まえた井上夏輝さん（小6）で、岸本会長から賞品が贈られました。